

放射線の単位 ベクレルとシーベルト

ベクレル (Bq)

放射能の量を表す単位

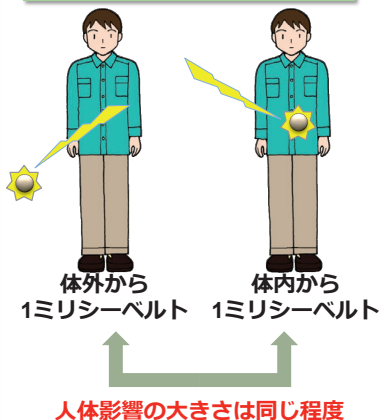
1秒間に1個原子核が変化=
1ベクレル (Bq)

放射性物質



シーベルト (Sv)

人が受ける被ばく線量の単位。
放射線影響に関係付けられる



放射線の単位のうち、最もよく聞きするものに、ベクレルとシーベルトがあります。ベクレルは放射能の単位で、放射線を出す側に着目したものです。土や食品、水道水などに含まれる放射性物質の量を表す時に使われ、ベクレルで表した数値が大きいほど、そこからたくさんの放射線が出ていることを意味します。一方、シーベルトは人が受ける被ばく線量の単位で、放射線を受ける側、すなわち人体に対して用いられます。シーベルトで表した数値が大きいほど、人体が受ける放射線の影響が大きいことを意味します。

放射線を受けた人体にどのような影響が表れるかは、外部被ばく、内部被ばく、全身被ばく、局所被ばくといった被ばくの形態の違い（詳しくは「4. 被ばくの経路」を参照）や、放射線の種類の違い（詳しくは「3. 放射線」を参照）などによって異なります。そこで、いかなる被ばくも同じシーベルトという単位で表すことで、影響の大きさの比較ができるように考えられています。

外部被ばくで1ミリシーベルト受けた、ということと、内部被ばくで1ミリシーベルトを受けた、ということは、影響の大きさはほぼ同じになります。また体外から1ミリシーベルト、体内から1ミリシーベルトを受けたら、合わせて2ミリシーベルトの放射線を受けた、ということができます。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2015年3月31日